



札幌ドームレポート

2022

開業20周年の願いを胸に、 これからも成長を続けていきます。

2021年6月2日、札幌ドームはおかげさまで開業20周年の節目を迎えました。
この記念すべき日、私たちは、エゾヤマザクラを敷地内に植樹しました。
北海道の桜の代名詞として愛されてきたエゾヤマザクラのように、
札幌ドームはこれからも、市民道民の皆さまに親しまれる存在であり続けたい。
その願いを全社員で共有し、目指す未来に向かって新たなスタートを切りました。
私たちは、多くの皆さまの笑顔を原動力に
これからも北海道に根を張り、成長を続けていきます。

CONTENTS

トップメッセージ	03
札幌ドームのあゆみ	05
ファイターズと歩んだ19年	07
札幌ドーム未来への指針	11
今後に向けた新たな取り組み	15
札幌ドームのCSRとSDGs	23
視点 01 すべてのお客さまのために	25
視点 02 地域社会とともに	26
視点 03 公正に事業を推進するために	27
視点 04 社員とともに	28
視点 05 環境にやさしい施設を目指して	29
資料	33



編集方針

●本レポートは、当社とすべてのお客さま(ステークホルダー)をつなぐ重要なコミュニケーションツールとして位置付けています。2019年から「札幌ドームレポート」というタイトルで発行しています。
●本レポートでは、当社のCSR活動についての報告のほか、SDGsの視点も含め、持続可能な社会の実現に向けた当社の考え方や取り組みを紹介

したいと考えています。本レポートで掲載しきれなかった事業・データ等につきましては、当社webサイトで紹介しています。
●本レポートについて、ご意見やご感想などをお気軽にお寄せください。
札幌ドーム webサイト/ www.sapporo-dome.co.jp

報告対象期間

2021年度(2021年4月1日~2022年3月31日)の活動を対象としていますが、当社の事業活動をご理解いただくため、札幌ドーム開業からの取り組みについても紹介しています。

発行

2022年6月
※2008年から年次報告として毎年発行しています。



長期ビジョンをもとに、
新たな未来へ。
チャレンジと創造を
重ねていきます。

代表取締役社長

山川 広行



東京五輪をはじめ 新たな経験値を積んだ2021年

私たち札幌ドームは2021年、おかげさまで開業20周年の節目を迎えることができました。これまでにご来場いただいた累計約5,200万人のお客さま、札幌ドームを支えてくださっているすべての皆さまのお力添えによるものと、心より感謝を申し上げます。

2021年は、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一年でした。20周年を機にできるだけいい形で次のステップに進みたいと思っておりましたが、コンサートやイベントは相次いで中止となり、なかなか思い描いたようにはいきませんでした。

しかし、そうした厳しい状況の中でも開催できたイベントがあります。プロ野球公式戦は人数制限を行いながら56試合を開催、サッカーJリーグ公式戦も人数制限を受けつつ14試合を開催しました。コンサートは12月の1公演のみでしたが、大規模な販売会イベントを開催するなど、新しいお客さまをお迎えする機会もありました。厳しい状況下であっても、きちんと感染防止対策を行って安全に開催することができたのは大きな成果ですし、コロナ禍で身動きの取れなかった2020年度とは違い、今後につながる経験値を積むことができた一年だったと思います。

特に大きかったのは、東京2020オリンピックのサッカー競技の開催です。無観客ではありましたが、感染防止対策をしっかりと行って無事に開催できたことは札幌ドームにとって輝かしい実績であり、当社の社員にとっても大きな自信になりました。「チャレンジして新しいものを創り上げていこう」という社員たちの意識は一段と強くなり、2022年から「アリーナ半面モード」や「新モード」などを実現していくための計画も着々と進んでいます【P.17参照】。

20周年の節目に社員たちとお祝いらしいことをできなかったのが心残りですが、印象深いエピソードもあります。2022年2月末のコンサドーレ開幕戦に向けたホヴァリングサッカーステージの除雪作業が突然の大雪で難航し、私を含め社員総出で2時間以上も除雪作業を行いました。肉体的には疲れましたが、「久しぶりにみんなで汗をかいたな」とすがすがしい気持ちでした。凶らずも20周年のアフターイベントのように感じられ、「そうだ、この気持ちで前へ進もう」と心に刻んだのを覚えています。

中堅社員チームが議論を重ね 長期ビジョンを策定

2022年からは、開業30周年の2031年に向けた長期ビジョン「SAPPORO DOME VISION 2031 (SV-31)」が動き出しました【P.11参照】。全社員から寄せられた意見をベースに素案づくりを担当したのが、30代・40代の社員14人からなるプロジェクトチームです。長期ビジョンの策定にあたっては、今後も長く会社にいる人がたくさん意見を言ったほうがいいというのが私の持論でした。

長期ビジョンでは、2031年に向けてありたい姿として「賑わい愛される施設 そして、信頼される企業へ ～その次の10年を見据えて～」を掲げ、そのために「新たな企業価値の確立」を目指すこと、さらに経営成果として「安定的な黒字経営の実現」を目指すということが示されています。私が札幌ドームの代表に就任した5年前からずっと言い続けてきたことが社員にもしっかりと浸透し、ビジョンとして具体的に反映されたことを非常に意義深く感じています。

この新長期ビジョンをもとに策定した当初3カ年の計画「中期経営計画2024」【P.14参照】を進めるにあたっては、社員が丸丸となって行動し、私は社員が動きやすいようにしっかりと環境を整えてサポートしていくことに全力を尽くしたいと考えています。

失敗を恐れずに チャレンジをすることが大切

私は折に触れて、社員みんなに「失敗を恐れずにチャレンジしてほしい」と言い続けています。目的に向かう手段は一つではありませんから、やり方に固執するよりも、チャレンジして新しいものを創り出すことが大切だと思います。そうやって少しずつ成功体験を積み重ねることが、達成感や成長につながると思います。私自身も、何でもやってみようという気構えです。

交通利便性の高い全天候型の大規模多目的施設という札幌ドームの強みを生かし、より多くの市民道民の皆さまにご利用いただけることが、札幌ドームの価値をさらに高めることにつながります。企業や団体、学校などの皆さまには、入社式や入学式、運動会、成人式などさまざまな形でご利用いただきたいと思っています。

今後も札幌ドームファンをより一層広げ、「スポーツ文化パーク」としての成長を目指すために、社員丸丸となってチャレンジしていく所存です。これからもよろしくお願いたします。



札幌ドームは、スポーツの普及振興および市民文化の向上、地域経済の活性化に寄与することを目的として、札幌市により設置されました。
多くの皆さまに夢と感動のステージをお届けするため、札幌ドームは、スポーツ・エンターテインメントの魅力を広く発信し、多目的施設としての価値を高めてきました。
そのあゆみを振り返ります。

札幌ドームの あゆみ

2001 (平成13年) 6月2日 **開業**

- 2002FIFAワールドカップ™開催
- 5月竣工
コンサドーレ札幌のJリーグ公式戦が初開催
- 外観仕上げ、内部工事が進行
- 国内初「ドーム展望台」の取り付け
- 6月着工
株式会社札幌ドームが10月設立

2002 (平成14年)

- 試合観戦に向かう各国のサポーター(2002年)

2003 (平成15年)

- 海外大物アーティストのコンサートが次々と実現

2004 (平成16年)

- 「北海道日本ハムファイターズ」誕生
- 2つのプロスポーツチームの本拠地に

2005 (平成17年)

- 野球用人工芝の更新
- キッズパーク設置(2006年)

2006 (平成18年) **開業5周年**

- 「メモリアルコーナー」と大型複合遊具「キッズパーク」設置
- 来場者数1,000万人突破

2007 (平成19年)

- 「FISノルディックスキー世界選手権札幌大会」が初の屋内開催

2008 (平成20年)

- 「2008FIA世界ラリージャパン選手権」開催
- 人気グループ「嵐」が札幌ドームで初コンサート

2009 (平成21年)

- 来場者数2,000万人突破

2010 (平成22年)

- 展望台でコンサートを初開催

2011 (平成23年) **開業10周年**

- 「6時間リレーマラソン」初開催

2012 (平成24年)

- 「札幌モーターショー」、「トヨタ・ビッグ・エア」初開催

2013 (平成25年)

- 来場者数3,000万人突破記念に「感謝の森」造成

2014 (平成26年)

- 大型ビジョン更新・増設
- 野球の国際大会「WBSCプレミア12」開催
- 展望台での運動教室を初開催

2015 (平成27年)

- 「サッポロ モノ ヴィレッジ」初開催
- 「ゆきひろば」を開設
- 来場者数4,000万人突破

2016 (平成28年) **開業15周年**

- 「グッズ☆ジャム」リニューアル(2014年)
- 来場者数4,000万人突破(2016年)

2017 (平成29年)

- 「2017冬季アジア大会開会式」開催

2018 (平成30年)

- ホヴァリングサッカーステージ天然芝更新(2018年)

2019 (平成31年・令和元年)

- ラグビーワールドカップ2019™日本大会「開催
- 「ほっかいどう大運動会」初開催
- 屋外エスカレーター設置
- 来場者数5,000万人突破

2020 (令和2年)

- 新型コロナウイルス感染症の影響により相次ぎイベント中止

2021 (令和3年) **開業20周年**

- 札幌ドームを会場として開催された東京2020オリンピック(2021年)
- 東京2020オリンピック・パラリンピック開催

札幌ドームは、これからもスポーツ・エンターテインメントを通して新たな価値を創造していきます。

経営理念

Our Mission, Value, Vision

私たちは
エンターテインメントビジネスを通して、常に最高のホスピタリティを追求し、すべてのお客さまの夢と感動を実現するステージを創造します。

- エンターテインメントビジネス:
すべてのお客さまをもてなし、楽しんでいただくことを通して、ともに喜びを分かち合えるビジネス。
- ホスピタリティ:
思いやり・優しさの気持ちをもって、人と人が心を通じ合わせ、楽しさ・喜び・感動を共有すること。
- ステージ:
空間としての舞台や劇場のほか、旅程・段階・ステップの意味も込めています。



トヨタ・ビッグ・エア(2012年)



2015 (平成27年)

- 大型ビジョン更新・増設
- 野球の国際大会「WBSCプレミア12」開催
- 展望台での運動教室を初開催

2013 (平成25年)

- 来場者数3,000万人突破記念に「感謝の森」造成

2014 (平成26年)

- 「キリンチャレンジカップ」「日米野球」開催
- 「グッズ☆ジャム」拡張リニューアル



来場者数3,000万人突破(2013年)



「感謝の森」ヤマボウシ(2013年)



札幌ドームを会場として開催された東京2020オリンピック(2021年)

2021 (令和3年) **開業20周年**

- 東京2020オリンピック・パラリンピック開催



来場者数5,000万人突破(2019年)

2020 (令和2年)

- 新型コロナウイルス感染症の影響により相次ぎイベント中止

2019 (平成31年・令和元年)

- ラグビーワールドカップ2019™日本大会「開催
- 「ほっかいどう大運動会」初開催
- 屋外エスカレーター設置
- 来場者数5,000万人突破



ラグビーワールドカップ2019™日本大会(2019年)

2018 (平成30年)

- ホヴァリングサッカーステージの天然芝を全面更新
- 北海道胆振東部地震発生



ホヴァリングサッカーステージ天然芝更新(2018年)

2017 (平成29年)

- 「2017冬季アジア大会開会式」開催

2016 (平成28年) **開業15周年**

- 「サッポロ モノ ヴィレッジ」初開催
- 「ゆきひろば」を開設
- 来場者数4,000万人突破



サッポロモノヴィレッジ(2016年)



「グッズ☆ジャム」リニューアル(2014年)



来場者数4,000万人突破(2016年)



展望台で初の運動教室開催(2015年)

感動をありがとう！ ファイターズと 歩んだ19年

札幌ドームは、北海道日本ハムファイターズのホームスタジアムとして、19年間、たくさんのお客さまをお迎えし、歴史を積み重ねてきました。数々の感動を生み出してくれたファイターズへの感謝を胸に、これまでの出来事を振り返ります。



2004
(平成16年)

- 日本ハムファイターズが北海道に移転
- 「北海道日本ハムファイターズ」誕生
- パ・リーグ3位



SHINJO選手(当時)の入団が話題に(2004年)



SHINJO 選手



歓喜に包まれるファイターズ戦(2004年)

2005
(平成17年)

- パ・リーグ5位



開業以来初の人工芝張り替え工事(2005年)



ダルビッシュ有 選手

2006
(平成18年)

- 日本シリーズ優勝
- パ・リーグ優勝



北海道に移転後初の日本一(2006年)



森本 稀哲 選手

トレイ・ヒルマン 監督

2007
(平成19年)

- パ・リーグ優勝



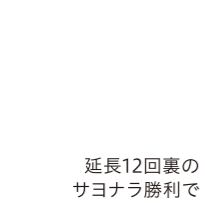
2年連続パ・リーグ優勝(2007年)



稲葉 篤紀 選手

2008
(平成20年)

- パ・リーグ3位



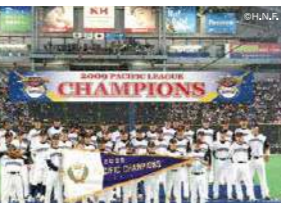
延長12回裏のサヨナラ勝利で優勝(2009年)



ダルビッシュ有 選手

2009
(平成21年)

- パ・リーグ優勝



2009年度札幌ドームMVP賞



金子 誠 選手

2010
(平成22年)

- パ・リーグ4位



2010年度札幌ドームMVP賞



小谷野 栄一 選手

2011
(平成23年)

- パ・リーグ2位



2011年度札幌ドームMVP賞



ダルビッシュ有 選手

梨田 昌孝 監督

2012
(平成24年)

- パ・リーグ優勝



歓喜に沸くファンと選手(2012年)



吉川 光夫 選手

2013
(平成25年)

- 大谷翔平選手が入団
- パ・リーグ6位



大谷翔平選手入団会見(2013年)



陽 岱鋼 選手

2014
(平成26年)

- パ・リーグ3位



大型ビジョンの更新・増設(2015年)



陽 岱鋼 選手

2015
(平成27年)

- パ・リーグ2位



2015年度札幌ドームMVP賞



大谷 翔平 選手

栗山 英樹 監督

2016
(平成28年)

- 日本シリーズ優勝
- パ・リーグ優勝



2016年度札幌ドームMVP賞



大谷 翔平 選手

2017
(平成29年)

- パ・リーグ5位



2017年度札幌ドームMVP賞



西川 遥輝 選手

2018
(平成30年)

- パ・リーグ3位



2018年度札幌ドームMVP賞



上沢 直之 選手

2019
(平成31年・令和元年)

- パ・リーグ5位



2019年度札幌ドームMVP賞



有原 航平 選手

2020
(令和2年)

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、札幌ドームで予定されていたイベントが次々と中止や延期に



2020年度札幌ドームMVP賞



中田 翔 選手

- 6月末の無観客でのプロ野球公式戦再開後、人数制限を実施のうえお客さまをお迎えしての試合を再開
- パ・リーグ5位

2021
(令和3年)

- パ・リーグ5位
- 札幌ドーム開催試合の来場者は累計2,700万人超に



ホーム最終戦での栗山監督挨拶(2021年)



上沢 直之 選手

栗山 英樹 監督

2022
(令和4年)

- 新庄剛志新監督就任



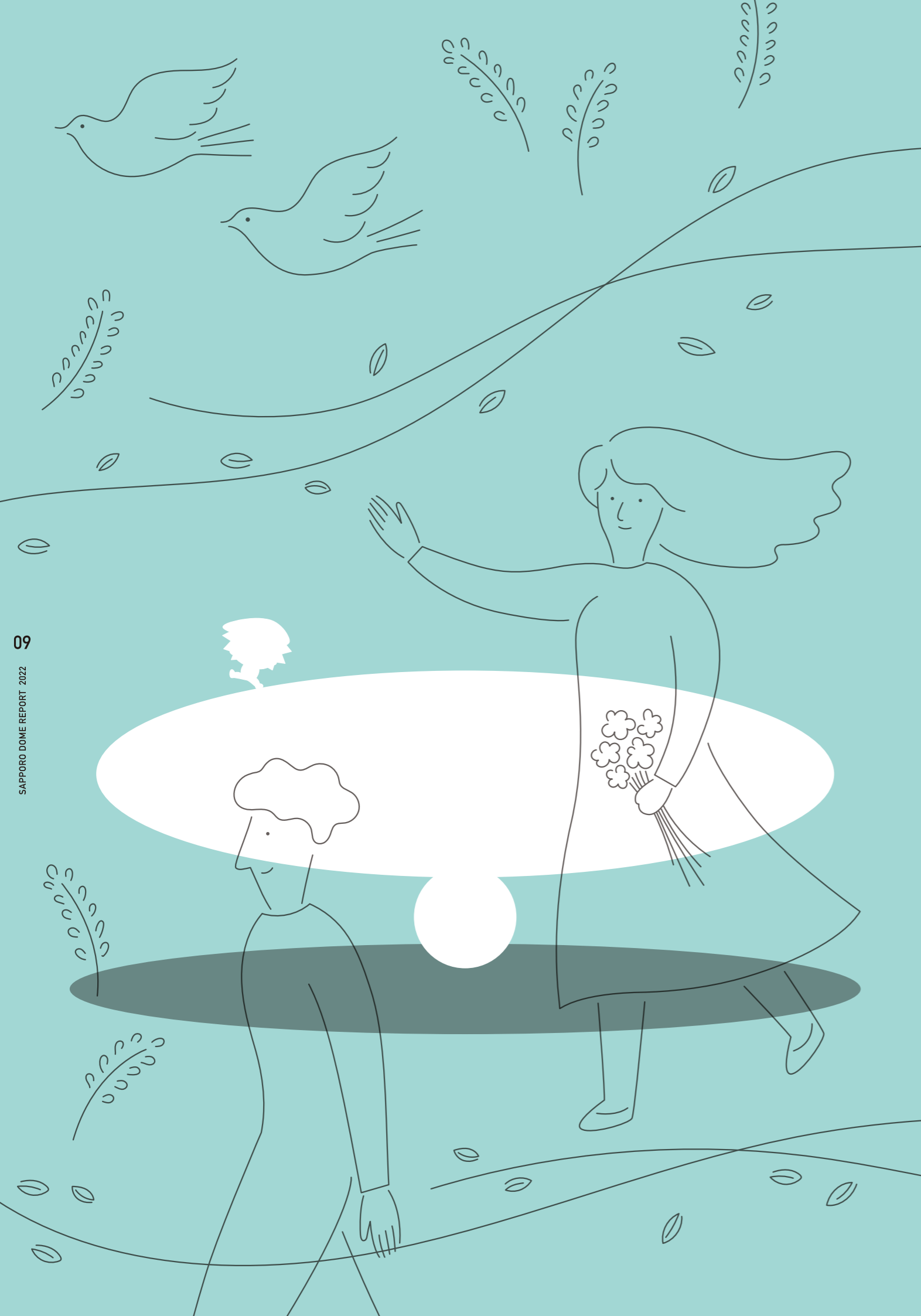
新プライマリーロゴ・新ユニフォーム発表(2022年)



新庄新監督を迎えた開幕セレモニー(2022年)

その活躍により元気をくれる選手の皆さま、試合を支えてくださるスタッフの皆さま、そして会場に足を運んでくださる多くのファンの皆さま、これまでもこれからも、札幌ドームは感謝を贈り続けます。





末永く愛される 施設であるために

たくさんの皆さまにご利用いただき
開業から20年を歩み続けてきた札幌ドーム。
ここから開業30周年までの道筋をどう描くか
社員みんなが真摯^{しんし}に向き合い、議論を重ねました。
より多くのお客さまに楽しんでいただき、
末永く愛される施設であるために。
見知らぬ人とも感動を分かち合える場として
鳥のさえずりとともに散歩を楽しめる憩いの場として
多目的施設という価値と可能性をさらに広げ、
お客さま一人ひとりの笑顔に寄り添い続けたいと願っています。

左ページのシルエットのモチーフ

札幌ドームの敷地内・館内に、
国内外のアーティストによる
作品24点を配置しています。

Weightless Boulder 無重力の玉石

Tom Shannon(トム・シャノン)作

太陽と地球の軌道の比率から導
き出された巨大な楕円球がゆら
ゆらと浮かぶ不思議なアートは
エントランス広場で出会えます。



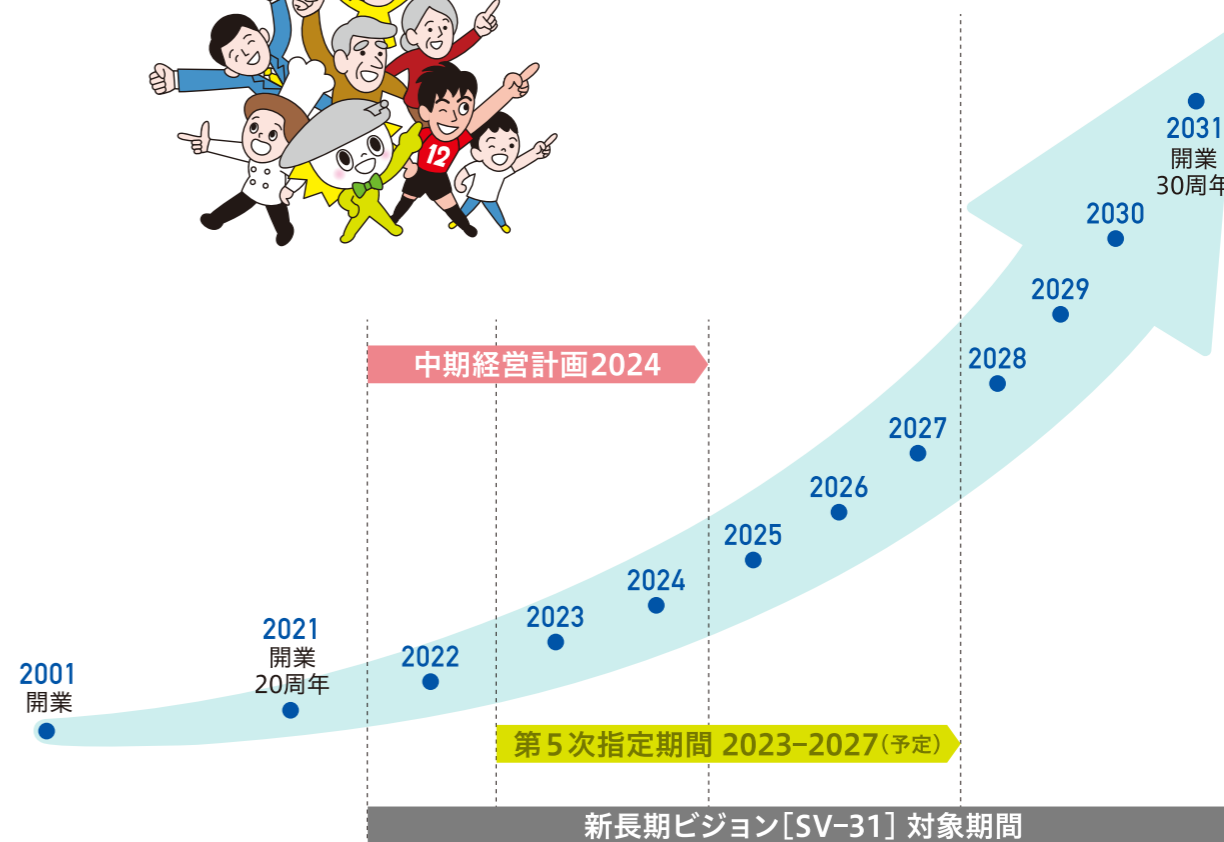
SAPPORO DOME VISION 2031 (SV-31)

今後10年の指針となる 新長期ビジョンを策定しました。

2021年の開業20周年という節目を越え、
私たち札幌ドームは、「第二の創成期」ともいえる
新たなスタートラインに立っています。
次の開業30周年に向け、札幌ドームのあるべき姿と役割を見つめ直し、
事業を通して社会課題の解決や地域社会の発展のためお役に立てるよう、
札幌ドームは、今後10年の指針となる
新長期ビジョン「SAPPORO DOME VISION 2031(SV-31)」を策定しました。
北海道のスポーツ・エンターテインメントの発信地として市民道民の皆さまに末永く愛され、
持続可能な社会の実現に貢献できる施設を目指していきます。



賑わい愛される施設
そして、信頼される企業へ
～その次の10年を見据えて～



戦略の枠組み

事業

新たな
企業価値の
確立

社会

キーワード 差別化

- 主催者連携による利益最大化
- 多様な価値や変化への対応
- 社員の成長・スキルアップ

キーワード サステナビリティ

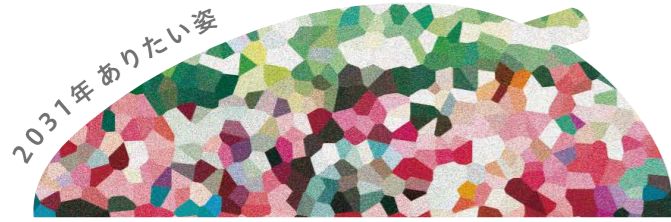
- 親しみのある地域のシンボル
- 環境にやさしい企業
- 新たな市民文化の共創

経営成果

安定的な黒字経営の実現



SAPPORO DOME VISION 2031 (SV-31)



賑わい愛される施設
そして、信頼される企業へ
～その次の10年を見据えて～

長期ビジョン[SV-31]に基づき 中期経営計画2024を策定

株式会社札幌ドームは、開業30周年の2031年を目標年度とする長期ビジョン[SV-31]の実現に向け、当初3カ年(2022～2024年)の計画として「中期経営計画2024」を策定しました【P.14参照】。この計画では、基本方針である「黒字経営の実現」のため、「事業」と「社会」を両輪とする基本戦略と主な取り組みを位置づけています。

これらを全社で着実に推進することにより、札幌ドームの価値をしっかりと未来につないでいきます。

札幌ドームの指定管理者として 適切な管理運営を進めます

当社は、札幌市から札幌ドームの指定管理者として選定され、現在は第4次指定期間(2018～2022年度)の管理運営を行っています。

中期経営計画2024の期間には、次の第5次指定期間(2023～2027年度)の審査および選定手続きが予定されていますが、当社は指定期間に限定することなく、常に中長期的な視点で地域の皆さまに親しまれる施設を目指し、今後も札幌ドームの管理運営業務を遂行していきます。

長期ビジョンの策定に携わりました



営業部 営業一課
担当課長

和田 敏弥

Wada Toshiya
2006年入社

経営企画室 経営企画課長 兼
総務部 総務課 担当課長

武田 健次郎

Takeda Kenjiro
2004年入社

10年後へのビジョンを
全社員で共有し、
前進していきます！

長期ビジョン[SV-31]のポイント

武田 長期ビジョン「SAPPORO DOME VISION 2031 (SV-31)」は、株式会社札幌ドームにとって2022～2031年の経営上の指針となるものです【P.11参照】。2031年ありたい姿として「賑わい愛される施設 そして、信頼される企業へ ～その次の10年を見据えて～」という目標像が示され、その実現に向けた戦略の枠組みとして、「事業」と「社会」の両面から相乗的に「新たな企業価値の確立」を目指すことが位置づけられています。

和田 策定にあたっては、各部署の30代・40代社員を中心に私たちを含む14人が策定メンバーに任命され、2021年夏から秋にかけて議論を重ねてきました。

武田 今後10年は、札幌ドームの経営環境が大きく変わっていく10年。最大の利用者である北海道日本ハムファイターズさまが2023年に新球場へ移転するので、それ以降も経営を安定的に形づくっていくことを重要なミッションだと考え、策定に臨みました。

和田 そうですね。10年後を担うわれわれの世代が未来を考える貴重な機会なので、自分自身がどう働いていき

中期経営計画2024

黒字経営の実現

～多種多様なイベント開催による貸館事業の活性化と新たな賑わいの創出

基本方針

基本戦略と主な取り組み

事業

1 主催者連携による利益最大化

- 3万人を目指したコンサドーレとの連携
- コンサート年20日開催の実現
- コンベンション年30日開催の実現
- 広告販売の収益最大化
- 主催者に有益なサポート・バックアップの強化
- 変動比率の抑制、経費削減

2 多様な価値や変化への対応

- 新規自主イベントの開催・定着
- 変化に応じた来場者サービスの提供
- 札幌市との新たな連携

3 社員の成長・スキルアップ

- 高いプロ意識を持った人材育成
- 良好な社内コミュニケーションの促進
- 将来を見据えた採用計画の立案・実行

4 親しみのある地域のシンボル

- コンプライアンスの徹底
- 安全安心快適な施設運営
- CS(顧客満足度)・ES(従業員満足度)向上への取り組みの継続
- 地域連携の推進
- 市民・観光交流施設としての魅力向上
- 適時適切な広報によるファンづくり

5 環境にやさしい企業

- CO₂排出量削減に向けた取り組みの推進
- ごみ排出量削減に向けた取り組みの推進

6 新たな市民文化の共創

- SDGsへの積極的な取り組み
- プロ野球観戦文化の継続
- ラグビー観戦文化の創出
- アマチュアスポーツ・市民参加型イベント等の開催

社会

たいかを具体的にイメージしながらプロジェクトに携わりました。

策定作業を通じて再確認できたこと

武田 策定の過程では、多目的に使える大空間の全天候型施設という札幌ドームの価値を再認識しました。札幌ドーム条例に定められた設置目的には、「スポーツの普及振興」「市民文化の向上」「地域経済の活性化」が掲げられています。つまり、多種多様なイベントの開催を通して、より多くの市民道民の皆さまに楽しんでいただける施設であるとともに、札幌の経済活性化に寄与できることが原点だと思います。

和田 私も施設の価値を再確認できたことで、仕事に臨む道しるべができました。また、策定メンバーは仕事内容や立場が違う中で、「10年後にこうありたい」という方向性は皆同じなんだという手応えがありました。さらに今後、ベテランから若手までの全社員が同じ方向を見て進んでいくためには、長期ビジョンに対する納得と共感が重要だと思います。部門や世代を超え、誰が見てもわか

りやすい言葉とイメージを共有していくことが大事だと思います。

武田 その通りですね。長期ビジョンの意味合いを後輩や課員に伝えていくことも、私たちの重要な役割だろうと思います。

札幌ドームの未来に願いを託して

武田 より良い会社と施設を目指すうえで、部門を超えて議論ができたことは非常に意義があったと思います。今後も“全体最適”の視点で議論をできる場があればと思います。私自身も、担当業務の中で札幌ドームの存在価値を一層高められるよう貢献したいと思います。

和田 札幌ドームの施設としての可能性をさらに広げるために、お客さまの多様なニーズに応え、新しい価値を創造していけたらと思います。また、2021年に開業20周年を迎えることができたのは、多くの皆さまにご利用いただき、市民道民の皆さまに支えていただいたおかげです。これまで以上に、皆さまと一緒に札幌ドームの価値を創り上げていきたいと願っています。



©2021 CONSADOLE

北海道コンサドーレ札幌とともに

札幌ドームは「北海道コンサドーレ札幌」のホームスタジアムとして、クラブとの連携によるさまざまな取り組みを進めています。

SDGsの取り組みを進めるために 両社間で協定を締結しました。

北海道コンサドーレ札幌によるSDGsに関するプロジェクト「PASS」の活動を推進するために、2021年9月、「SDGsに関する取り組みについての協定」を両社間で締結しました。持続可能な社会の実現に向け、**環境・教育・健康**の3つを柱に取り組み北海道コンサドーレ札幌の想いに札幌ドームも共感し、これまで以上に連携を強化することとしました。

翌10月には、協定締結後初の共催イベントとして「秋の野鳥観察会」を実施。札幌ドーム敷地内での観察会を行い、マスコットキャラクター「ドーレくん」もサブライズで登場するなど、参加者も大いに盛り上がりました。また、ごみの削減およびリサイクル率向上に向けた施策として、館内のリサイクルポスト(分別ごみ箱)横に選手の分別呼びかけパネルを設置したほか、大型ビジョンで分別啓発動画を流すなど、会場一体となってエコの取り組みを推進しています。こうしたさまざまな連携事業を広く周知するため、2022年2月の開幕戦では、PASS連携による両社の取り組みについて遊びながら学べるブースを出展。468人のサポーターの皆さまに企画にご参加いただきました。

今後も、札幌ドームは北海道コンサドーレ札幌とともに、両社の課題解決となり地域社会への貢献につながる取り組みを連携して行っています。



「SDGsに関する取り組みについての協定」を締結

具体的な「PASS」連携企画



コンサドーレ×札幌ドーム
「秋の野鳥観察会」

鳥だけでなく
リスやキツネも
姿を見せました！



リサイクルポスト(分別ごみ箱)横に
分別呼びかけパネルを設置



開幕戦での
PASSブース出展

クイズや
SDGs投票を
実施！

地域を元気にする 取り組みを通して、 ともに成長していきたい。

渡辺 コンサドーレさんは「北海道とともに、世界へ」というクラブスローガンで事業活動を進めていらっしゃいますね。私たち札幌ドームも中期経営計画の中で「コンサドーレ戦平均来場者数3万人を目指す」という目標を掲げ、コンサドーレさんが輝けるステージを創っていきたくと願っています。

久保田 札幌ドームさんと協定を締結するまで、クラブでは「SDGs」という言葉をあまり使ってこなかったんです。Jリーグでいう「ホームタウン活動」や「社会連携活動」には年間約450回、延べ参加人数約13万人(2020年度実績)という規模で取り組んできましたが、2021年のクラブ25周年を機に、SDGsという言葉をしっかり使いながらプロジェクトを進めていくことにしました。クラブとしてはホームスタジアムと一緒に進めることに意義があり、札幌ドームさんはもともとSDGsの活動に熱心なので、両社が一緒に取り組むほうが良いと考えていました。

渡辺 相乗効果というのは大いにありますよね。札幌ドームがSDGsに積極的に取り組んでいることはまだ十分に知られていないと感じていますので、コンサドーレさんと連携ができたことでサポーターの皆さまへの発信力がかなり高まり、とても感謝しています。今回の連携によって、社内的にもSDGsへの取り組みに弾みがついたと思います。

久保田 それはうれしいです。現在は、ごみのリサイクル率の向上と生物多様性に関する取り組みを一緒に進めています。札幌ドームさんとの連携なしにはできません。サポーターにとっても札幌ドームは特別な存在で、パートナー企業さんを支えたいという思いを持っているんですよ。

渡辺 ありがとうございます。サポーターの皆さまのそういう気持ちはすごく感じています。



株式会社コンサドーレ
企画戦略室
社会連携グループ リーダー
久保田 和雅氏
Kubota Kazumasa

経営企画室
経営企画課 主任
渡辺 智香子
Watanabe Chikako
2016年入社

久保田 また、協定締結後もすぐに第1弾の取り組み「秋の野鳥観察会」を実施できたことも、発信力につながりましたね。

渡辺 はい、締結後すぐに募集開始というスピード感が良かったと思います。今後もサポーターの皆さまを含め「私たちが参加してみよう」と思ってもらえるような企画を考えて、一緒にPASSプロジェクトを盛り上げていけたらいいですね。

久保田 そう思います。クラブが26年あり続けられるのは市民道民の皆さまのおかげです。感謝の気持ちを忘れずにすべての皆さまに元気に豊かになってもらって、クラブも新しいことに挑戦していかなければなりません。

渡辺 コンサドーレさんとは理念と実践の両面で考えが一致していると感じます。札幌ドームも、ご来場いただいているサポーターの皆さまやクラブの方々への感謝を忘れずに、魅力的な取り組みをどんどん発信していきたいと思っています。これからも、両社一緒に成長していける関係性を築いていけたらうれしいです。

新しい利用形態も活用しながら 多種多様なイベントを開催していきます。

札幌ドームでは、2023年以降の安定経営に向けた施設活用の一環として、幅広い用途でご利用いただける「アリーナ半面モード」や「新モード」の稼働準備を進めています。より多くの場面でご利用いただき、たくさんの皆さまにご来場いただけるように、新しい分野も含めた多種多様なイベント開催に取り組んでいきます。

多様なニーズにお応えする 「アリーナ半面モード」

いままで全面利用のみだったアリーナを半面でご利用いただけるようなプランを考え、2022年11月からの運用開始を予定しています。

全面利用(左)の場合、17,800㎡で1万人収容、基本料金は1日440万円(消費税別)。半面利用(右)の場合は、9,000㎡で8,200人収容、基本料金は1日220万円(消費税別)となるほか、平日料金の設定もあり、ご利用しやすいモードとなっています。



全面利用



半面利用(アリーナ半面モード)

アリーナが 巨大ショッピングモールに!



アリーナいっぱいにファッションやグルメが大集合しました

株式会社オンワードさまが企画された新イベント「ONWARD SUPER POP UP STORE」の会場として札幌ドームをお選びいただき、2021年12月3～5日に当イベントを開催しました。オンワードグループのブランドファッションをはじめ道内各地の人気グルメが登場。アリーナに出現した巨大ショッピングモールに、たくさんのお客さまをお迎えできました。外は雪模様でしたが、全天候型の多目的施設ならではの価値を再認識でき、今後の展開につなげていきたいという想いを新たにしました。



>>> VOICE

計画中の「新モード」を通して
より多くのお客さまと
感動を分かち合いたいです。

営業部 営業二課 課長代理
藤田 なお
Fujita Nao 2009年入社



札幌ドームでは、いままで大規模なコンサートを中心に誘致してきました。加えて現在、1万5,000人～2万人といったニーズにも対応できる「新モード」の稼働に向け準備を進めており、2023年春からの運用開始を目指しています。さまざまなニーズに合わせた会場となることで、札幌ドームでコンサートを開催するアーティストの裾野を広げ、そのファンの方々をはじめ、より多くの皆さまに札幌ドームを楽しんでいただく機会を増やしたいと考えています。

また、新モードを通して、コンサートに限らず、これまで

の既成概念にとらわれることなくさまざまなイベント開催の可能性を模索し、エンターテインメントの発信地として北海道・札幌の元気を応援していきたいです。

憧れのアーティストに会えるなどのワクワク感や感動を一人でも多くのお客さまと分かち合える場所であり続けるために、私たちはチームワークを大切にしながらポジティブにアイデアを出し合い、未知の扉を開いていけるよう挑戦していきます。



これまで開催した主な自主イベント

ふわふわアドベンチャー

冬期間に子どもたちが屋内で思う存分遊べる機会を提供することを目的に誕生した、親子に大人気のイベントです。



6時間リレーマラソン



家族や職場の仲間たちとチームを組んで、敷地内の特設コースをたすきをつなぎながら走る、夏のマラソンイベントです。

サッポロモノヴィレッジ

北海道や全国で活躍する作家・クリエイターが集う、北海道最大のハンドメイドフェスティバル。2022年1月、感染防止対策を最優先しながら開催し、10,836人にご来場いただきました。また、2021年7月からJR札幌駅の札幌ステラプレイスに「ヴィレッジストア」を1年間限定でオープンし、「サッポロモノヴィレッジ」にゆかりのある作家の作品を展示・販売しています。



ディスタンスを保ちながら開催した「サッポロモノヴィレッジ」(左)と札幌駅の「ヴィレッジストア」(右)

北海道メイカーズ

北海道の「食」や「ハンドメイド作品」の作り手たちと来場者をつなぐ出店型イベントです。



たくさんの笑顔に 出会えるよう 自主イベント開催に 力を入れています。

北海道最大、全天候型の多目的ドームとしての魅力を最大限に引き出し、たくさんのお客さまに楽しんでいただけるように、私たちは、自主イベントの企画に力を入れています。2021年度は、コロナ禍により中止したイベントが多いものの、今後は、ドームの広さを生かしてソーシャルディスタンスにも配慮した安全・安心なイベントを開催していきます。

>>> VOICE

感謝を大切に自主イベントを企画し
お客さまに元気を届けられたら
幸せです。

営業部 営業一課
課長代理
自主イベント事業担当
関 春香
Seki Haruka
2008年入社



新人時代に当社の自主イベントの原点である「ふわふわアドベンチャー」の運営に携わりました。目の前でお客さまの笑顔を直接見ることで、外部のイベントスタッフなど実にたくさんの方々のおかげで開催できることを知り、私の仕事にとっても原点となる経験でした。

スポーツイベントを担当していたときも、主催者さまをはじめ、演出や清掃の事業者さまなど各セクションの真のプロフェッショナルたちに支えられ、一から学ばせていただき、本当に感謝しかありません。

いまは、新規の自主イベント「大ほっかいどう祭」を企画中です。来場する皆さまが、北海道の誇る「マチ」「食」「文化」「産業」「人」の魅力を全身で体感できる楽しいイベントにしたいと考えています。札幌ドームのイベントに参加して「楽しい! 明日も頑張ろう!」と、少しでも前向きになっていただけるなら、これ以上の幸せはありません。これからも、周りの人々への感謝を大切に、想いを共有できる場づくりを努めていきます。

札幌ドームの価値を高め、 新たな市民文化の共創を目指します。

夢と感動のステージをお届けすることが使命である札幌ドームは、誰もが“主役”となって輝くことができる場であり、ここに集う多くの皆さまとともに喜びを共有することができる場です。これからも市民道民の皆さまにさまざまな目的でご利用いただくことにより、札幌ドームの価値を高め、新たな市民文化の発展に貢献していくことが私たちの願いです。



国際大会の開催実績を生かし、 北海道にラグビー文化を広げていきます。

2019年、札幌ドームで開催されたラグビーワールドカップ2019™日本大会は、アジア初開催でこれまでにない屋内競技場という点でも世界中の注目を集めました。世界の一流選手による迫力のプレーに、札幌ドームは熱気と興奮に沸き、日本および北海道でのラグビーファン層を大きく広げることに貢献しました。また、私たち札幌ドームにとっては、野球やサッカー以外のスポーツで国際基準の運営ノウハウを高めることにつながりました。

こうした実績をもとに、札幌ドームは今後もより多くの皆さまにラグビー観戦の機会を提供し、北海道のラグビー文化の醸成に貢献していきます。



ラグビーワールドカップ2019™日本大会イングランド対トンガ戦



子どもから大人まで、 みんなの笑顔が輝く舞台であるために。

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年以降、さまざまな分野でイベントや行事の中止が相次ぎました。そんな中、札幌ドームをスポーツや文化活動などの発表の場としてもお使いいただけるよう、主催者さまとの調整を重ね、市民参加型イベントやアマチュアスポーツイベントの開催にも力を入れてきました。

2021年度には、駒澤大学附属苫小牧高等学校吹奏楽局のコンサート、サッポロスマイル交流大会(野球・サッカー)などの会場としてご利用いただいたほか、今後もさまざまな分野のイベントに対応し、市民道民の皆さまが主役となって輝くことのできる舞台を一緒に創り上げていきます。



駒澤大学附属苫小牧高等学校吹奏楽局のコンサート



サッポロスマイル交流大会(サッカー)

>>> VOICE

ラグビーの観戦機会を創出し、
多くの皆さまに感動を
味わっていただきたいです。

営業部 営業一課 主任
スポーツ・広告事業担当

大森 大希

Omori Daiki 2016年入社



「さっぽろラグビーフェスティバル」会場の様子

2019年のラグビーW杯開催は、札幌ドームにとって非常に発信力の高い機会でした。これまでも札幌ドームでは、大学ラグビーの試合観戦と体験イベント「さっぽろラグビーフェスティバル」(2018年)、トヨタ対パナソニックの試合(2019年)などの開催実績により機運が高まり、ラグビーW杯の盛り上がりにつながったと思います。

さらに、2022年4月30日・5月1日の2日間にわたり「北海道ラグビーの日」が開催され、年齢や性別を問わずさまざまなカテゴリーの試合が行われました。特に早稲田大学

対明治大学の熱戦は、会場に集まったラグビーファンを大いに沸かせました。

今後も北海道にラグビー文化を根づかせていくためには、プロや社会人、大学チームを含めレベルの高い試合を多く観ていただける機会を増やすことが大切だと思います。どんなイベントも、目の前で見ると感動に勝るものはありません。札幌ドームはその舞台として、選手の皆さまにパフォーマンスを発揮しやすい環境を提供し、お客さまにはここだけの感動をお届けできる場でありたいと願っています。

>>> VOICE

市民参加型イベントやアマチュアスポーツの
充実に取り組んでいきます。

営業部 営業一課 主任
スポーツ・広告事業担当

的場 洋介

Matoba Yosuke 2019年入社



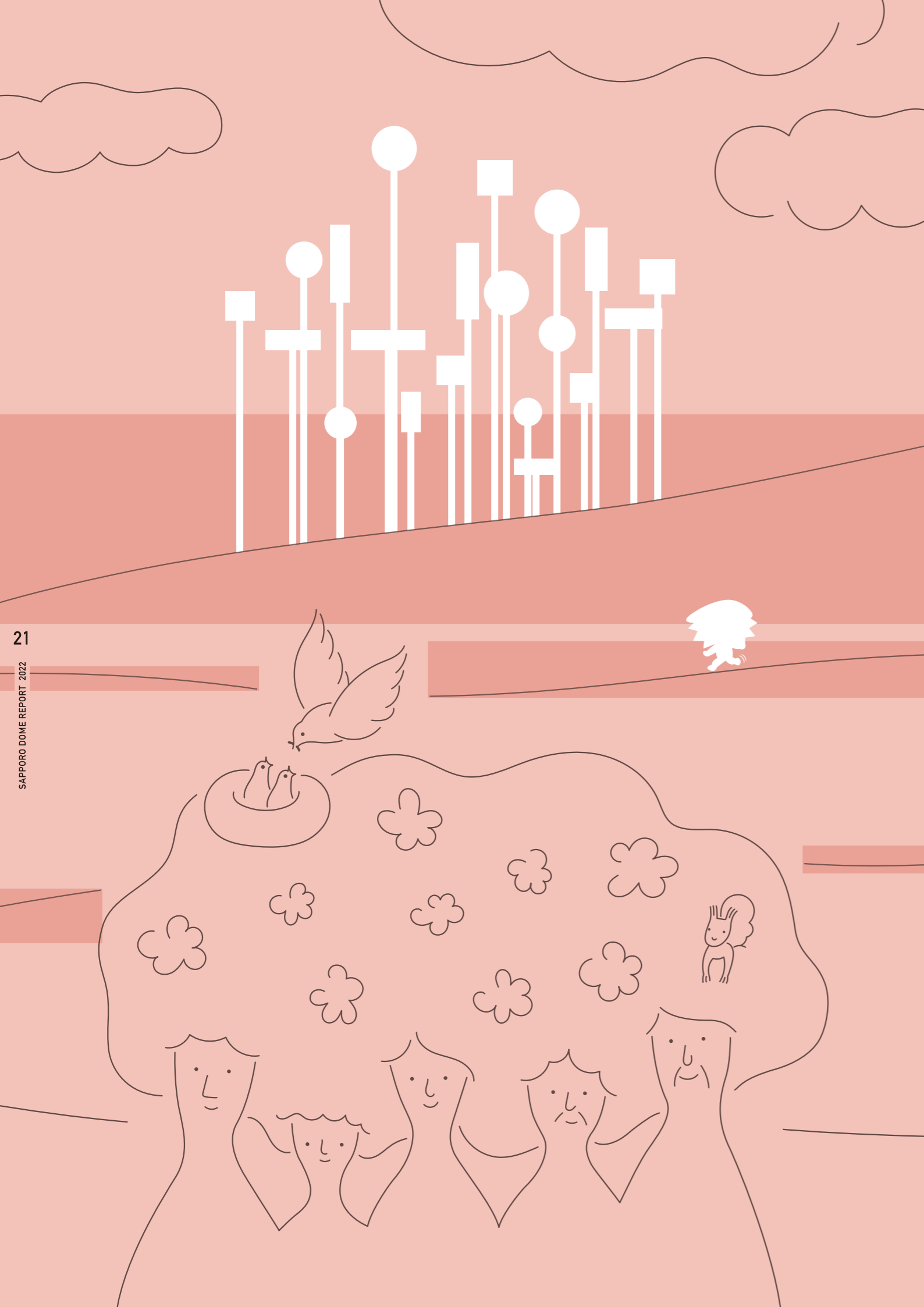
3年生の卒業記念を兼ねた駒澤大学附属苫小牧高等学校吹奏楽局のコンサート、札幌市内の小学生野球・サッカーチームの交流試合「サッポロスマイル交流大会」の運営を担当させていただきました。

コロナ禍で発表や試合の機会が減ってしまった子どもたちに、記念に残る交流の場を提供したいという主催者さまの強い願いから、札幌ドームを会場に選んでいただけたことは本当にありがたく思います。

私自身、長くサッカーに親しんできたので、プロ選手と

同じ試合会場でプレーができることは大きな刺激になると思います。子どもから大人まで幅広い層の皆さまに札幌ドームの魅力を体感していただくことで、地域のスポーツ・文化の振興につながっていけばと願っています。

今後も札幌ドームでは、市民参加型イベントやアマチュアスポーツを充実させていく予定です。感染防止対策を含め、札幌ドームを初めて利用される方の目線に立って丁寧なご案内を心がけ、安全・安心なイベント運営を行ってまいります。



皆さまと一緒に 新しい文化を創りたい

環境にやさしい施設として、地域社会とともに歩み、
私たちにとってのすべてのお客さまへ
心を豊かに満たす時間と場所を提供したい。
開業以来変わらない想いや使命感は
札幌ドームの日々の活動を支えています。
喜びという枝葉をさらに広げ、
笑顔という花をたくさん咲かせるために。
これからも、市民道民の皆さまと一緒に
「夢と感動のステージ」を大切に育てながら
新しい文化の創造に貢献していきます。

左ページのシルエットのモチーフ

札幌ドームの敷地内・館内に、
国内外のアーティストによる
作品24点を配置しています。

Pink Cloud 桃色の雲

Jean-Francois Brun
(ジャン=フランソワ=ブラン) 作

ブリッジからフィールド越しに、
建物の円弧に呼応するように光る
衛星を眺められます。フィールド
の尾根に円形に配置された
ピンク色の照明は、まるで夜空
に浮かぶ光の森です。





札幌ドームのCSRとSDGs

私たちの使命を しっかり見つめ続けながら、 CSR経営を推進していきます。

当社は、札幌ドームを管理運営するために札幌市が55%出資して設立されました。そのため、札幌ドーム条例第1条[※]に定める施設の設置目的は、当社が果たすべき第一の使命となります。したがって、当社の事業活動の成果は、広く市民の皆さまや地域社会に還元されていくべきものであり、私たちにとってのCSRとは経営そのものであると考えています。私たちにとってCSR経営を推進することは、社会からの信頼を獲得して企業価値を向上させるだけではなく、社会の持続可能な発展と未来のスポーツ文化、市場・顧客の創造にも貢献し、さらには、自らの業務や会社への誇りを醸成し、社員一人ひとりのモチベーション向上と組織活性化にも寄与していくものだと考えています。

※札幌ドーム条例 第1条 本市は、内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与するため、札幌市豊平区羊ヶ丘に札幌ドームを設置する。

>>> VOICE

お客さまのご協力に感謝しながら SDGsの取り組みに 丁寧に向き合っています。



商業部
飲食事業課
山元 希美
Yamamoto Nozomi
2019年入社

私たちは、SDGsの考え方を深化させながら業務を行うよう心がけています。社員一人ひとりの日常的な意識が何よりも大切になるため、毎月1回「社員エコ行動チェック」に回答しています。こまめな消灯やペーパーレス会議の推進など11項目について自己評価し、社員全員の集計結果が配信されます。入社後、私がまず驚いたのは社内ごみの細分化ルールです。電池、ボールペンなどの専用回収箱を配置するなど、分別の徹底に努めています。

飲食事業課にとって重要な課題は、お客さまに飲食

いただいた際に出るごみの削減です。すでにストローやフォークなどに再生可能な素材を使うなど新たな試みを実施しています。今後も、環境にやさしい新素材を探し求めて活用していきたいと思っています。

お客さまや主催者さま、委託事業者さまにはごみの分別やリサイクルに積極的にご協力いただき、大変感謝しています。より多くの方に喜んでいただける施設であるために、SDGsの取り組みに丁寧に向き合い、札幌ドームも持続可能な社会の実現に少しでも貢献できたら幸いです。

私たちにとってのすべてのお客さま

「夢と感動のステージ」へお迎えする すべての皆さまが、大切なお客さまです。

札幌ドームを舞台に活躍する皆さま、観戦鑑賞のためにご来場される皆さま、観光で訪れる皆さま、札幌ドームを支え、ともに働く皆さま、札幌ドームのある街に暮らす皆さま、そのすべての皆さまが、私たちにとって大切なお客さまです。



札幌ドームの5つの視点

当社では、CSR経営を推進するため、5つの視点による取り組み課題を設定するとともに、SDGsを意識した事業活動を行っています。

視点 01 P25

すべてのお客さまのために

- すべてのお客さまの安全と安心のために
- 最高の舞台であるために
- より楽しく、より快適にご利用いただくために
- お客さまの声をかたちに

視点 02 P26

地域社会とともに

- 地域とともに成長するために
- 子どもたちの明るい未来のために

視点 03 P27

公正に事業を 推進するために

- 信頼される企業であるために
- 多様なリスク回避のために

札幌ドーム CSR-SDGs マップ



視点 05 P29~32

環境にやさしい 施設を目指して

- 環境にやさしい施設であるために
- お客さまとともに学ぶために

視点 04 P28

社員とともに

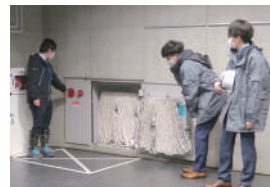
- 誇りに思える職場であるために
- 社員一人ひとりの可能性を広げるために



すべてのお客さまのために

お客さまの声を反映し、より良い施設に。

2012年度からインターネットアンケート「札幌ドーム オンラインリサーチ」を実施しており、例年100人のモニターの皆さまにご協力いただいています。アンケート結果はwebサイトに公開し、札幌ドームをより良い施設にするための参考とさせていただきます。



火災発生時を想定した防災訓練

震災の教訓を生かして防災を強化。

2018年の北海道胆振東部地震における教訓を生かし、防災への取り組みを強化しました。防火・防災講習会や総合防災訓練を繰り返して万一の事態に備えているほか、社員は災害時の対応要領を記載した防災カードを携帯し、日頃から防災を意識しています。また、館内の防火設備の使い方を都度復習し、お客さまの安全確保のための取り組みを進めています。

SNSで札幌ドームの魅力を発信。

札幌ドームに関する情報をカジュアルに発信することで、多くの皆さまに親しみを持っていただけるよう、札幌ドーム公式Twitterと公式LINEを開設しました。SNSでのコミュニケーションを通して、皆さまにより身近な情報をお届けしていきます。

>>> VOICE

札幌ドームの場面転換作業は、チームワークの仕事です。

札幌ドームの全天候型多目的施設としての価値を支えているのは、ホヴァリングサッカーステージです。その仕組みは、重さ8,300tのサッカーステージを空気圧で浮かせて、重量を10分の1にし、34個の車輪を使用して水平移動させるもので、この世界初の技術によって、用途に応じた場面転換を実現しています。

2月末のJリーグ開幕戦に向けては、計画的な除雪作業が欠かせません。例年は、場面転換当日までにピッチ上の積雪が10cm以下になるよう前もって除雪を行っていますが、2022年2月は場面転換日前夜から当日にかけて記録的な大雪に見舞われ、一晩で約70cmも積もってし

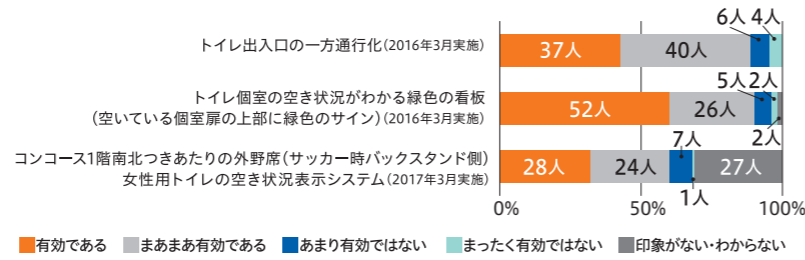


野球場からサッカー場への場面転換



札幌ドームの願いは、安全・安心を第一に、すべてのお客さまに楽しいひとときをお届けすることです。「より便利に快適に」を目指し、改善を続けていきます。

2021年度オンラインリサーチによるアンケート結果(抜粋・回答者数87人)
【トイレ混雑緩和の取り組みについて】



地域社会とともに

小学生がスタンド席で環境学習。

例年、近隣小学校の5年生の皆さんを札幌ドームに招待し、当社の環境への取り組みについて学ぶ機会を提供しています。2021年度は大型ビジョンを活用してクイズや動画を流すなど、コロナ禍でもお楽しみいただける特別な演出も行いました。



地域の発展を願って新年交礼会。



2022年1月、東月寒地区町内会連合会の皆さまが札幌ドームで新年交礼会を行いました。約130人が出席し、2022年が輝かしい一年となることを願いました。

札幌市とともに、まちづくり活動。



札幌市では、企業の地域に根差した積極的な関わりを支援する「さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度」を実施しています。認定企業のうち、特に積極的にまちづくり活動に取り組んでいる企業として、株式会社札幌ドームが本制度の「シルバー企業」に認定されました。

広大な敷地を活用した環境学習の機会創出や、近隣町内会および近隣施設の行事等への積極的な参加など、当社のさまざまな活動実績が評価され、2021年11月、秋元克広札幌市長より表彰状を授与されました。



市民道民の皆さま、地域の皆さまに親しまれる施設であるために、札幌ドームは、社会貢献活動にも力を入れています。これからも、地域の一員としてともに成長していくことを目指しています。

地域の安全・安心も守ります。

2021年10月、当社は北海道札幌方面豊平警察署と「地域の安全・安心に関する協定」を締結しました。札幌ドームでのイベント開催時に、来場者に対する防犯啓発活動を行うなど、犯罪被害のない社会づくりを目指していきます。



協定締結式に臨んだ上原一宏豊平警察署長(当時:右)と山川広行札幌ドーム社長(左)

「ゆきひろば」には楽しい遊びがいっぱい!

例年1月から雪解け時期まで札幌ドームの敷地内に開設している「ゆきひろば」では、子どもも大人も雪遊びを楽しむことができます。そりやチューブ、スノーラフティング、歩くスキーなどを体験することができ、とても好評です。



近隣の小学生の皆さんも遊びに来てくれました

交通安全街頭啓発活動に参加。

東月寒まちづくり協議会による「東月寒地区交通安全街頭啓発」が2021年10月に実施され、当社の社員も参加して交通安全を呼びかけました。国道36号に沿って並び、近隣の事業所職員や小中学生など52団体約800人が参加。交通安全パレードも実施され、市内でも最大級の規模を誇る交通安全街頭啓発となりました。





公正に事業を推進するために

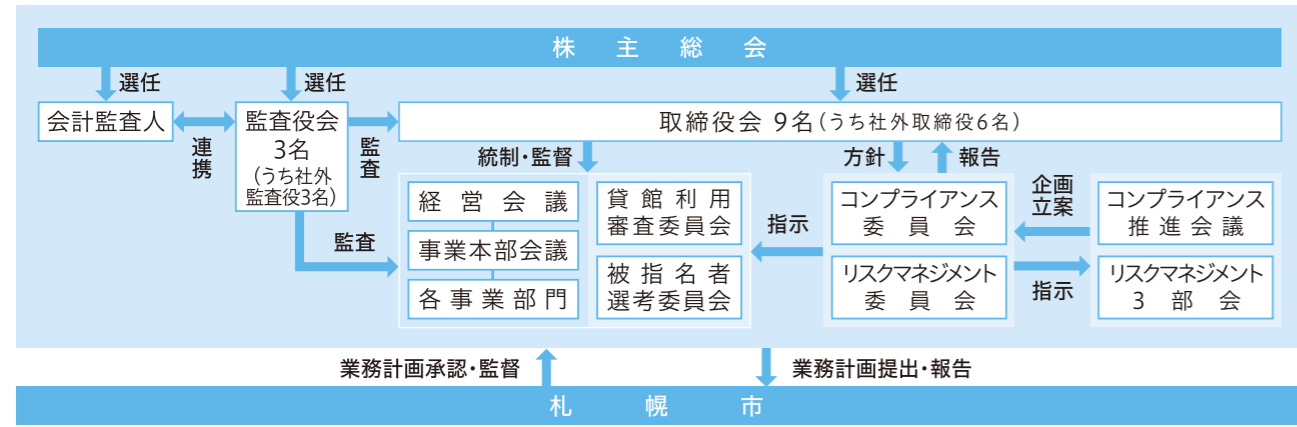
私たち株式会社札幌ドームは、信頼される企業であるよう、公正に事業を推進し、コンプライアンスを徹底するとともに、リスク管理のための体制づくり、社員の意識向上に努めています。

信頼される企業であるために。

当社は、札幌市が55%出資する出資団体として、また「札幌ドーム」の指定管理者として、公正に事業を推進するため、以下のようなコーポレートガバナンス体制をとっています。



コーポレートガバナンス体制



3部会を設置し、多様なリスクへ迅速に対応。

リスク管理のため、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を設置し、対応方針を制定するとともに、具体策の企画立案を行う3つの部会を設置しています。

新型コロナウイルス感染症の事案に対しても、適宜部会を開催し、対策を講じています。

3つの部会と主要テーマ

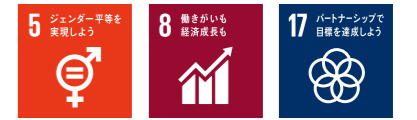
経営管理 リスク部会	コンプライアンス、業績および投資に関する事項
事業運営 リスク部会	イベント・施設設備管理、災害・パンデミックに関する事項
危機管理 部会	危機管理マニュアルの策定・運用

コンプライアンス意識の向上のため集合研修を実施。

当社では、「コンプライアンス委員会」と同委員会のもとで具体策を企画立案する「コンプライアンス推進会議」を設置し、コンプライアンスの徹底・浸透に努めています。社員に対しては、全員が参加する「コンプライアンス集合研修」を定期的実施。弁護士や社会保険労務士を招いての講演などを開催しています。また、法令違反や不正行為などの未然防止・早期発見のために社内外の窓口を複数設置しています。



コンプライアンス集合研修の様子

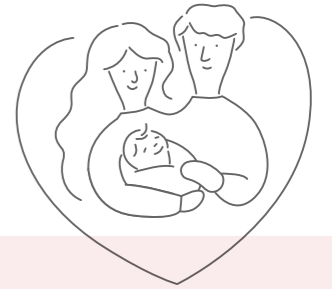


社員とともに

お客さまに最高のホスピタリティを提供するためには、全社員が日々成長するとともに、安心して働ける環境が必要です。当社では、誇れる仕事・職場を目指し、さらなる取り組みを進めています。

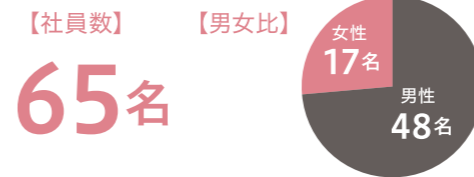
全社員が安心して働ける環境を。

イベント開催などを考慮したシフト制による勤務体制や福利厚生・健康増進への取り組み、資格取得の支援などを通して、ワーク・ライフ・バランスの推進に努めています。



社員数(2022年6月現在)

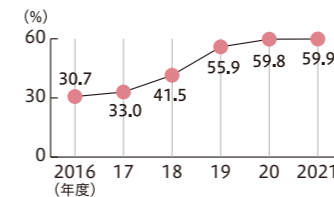
平均年齢は、42.5歳。世代や男女の区別なく意見を話し合い、日々の仕事に取り組んでいます。



有給休暇取得率(2021年度)

有給休暇取得率は年々高まっています。政府目標の70%に近づけるよう、ONとOFFのメリハリのある働き方を心がけています。

59.9%



連続休暇取得率(2021年度)

当社では、原則5日以上連続休暇の取得を推奨。また、年次休暇のほかに、5日間のリフレッシュ休暇を導入しています。

61.5%



当社は、札幌市のワーク・ライフ・バランスplus認証企業として、さまざまな取り組みを進めています。

資格取得を応援

業務に必要な資格取得のための受講料や交通費の支給、任意の資格取得への報奨金の支給など、制度を整えて社員の能力向上を応援しています。



>>> VOICE

充実した制度とあたたかなサポートで子育てと仕事を両立できています。



総務部
総務課 主任
森谷 梓
Moriya Azusa
2020年入社

当社では、社員一人ひとりが働きやすい職場づくりを熱心に取り組んでいます。その一環として、2022年10月の育児休業法改正に先立って、当社では4月に社内の「育児休業規則」を改正し、より積極的に育休を取得できる環境を整えました。

私自身は、2021年に産休・育休を取らせていただきました。周りの人たちに迷惑をかけるのではと最初は不安もありましたが、「体調を第一に考えて!」とやさしい言葉をかけてもらい、とてもうれしかったです。職場復帰後も、子どもが熱を出すなど突然の欠勤や早退にも皆さんがいつも快くサポートしてくれる上に、1時間単位での「時間年休」などを活用できて本当に助かっています。

働きながら安心して子育てできる当社の柔軟なサポート体制に感謝しています。今後、さらに働きやすい職場づくりに私の体験を生かしていきたいと願っています。

2022年4月に改正した当社の「育児休業規則」

- ① 有期雇用の育休取得要件緩和
- ② 1歳以降の育休開始日柔軟化
- ③ 男性社員用の出生時育休創設
- ④ 育休の分割取得可



環境にやさしい施設を目指して

札幌ドームでは「環境方針」を実現するために、数値目標を策定。お客さまにご協力をいただきながら、未来の子どもたちのために「環境にやさしい施設」を目指す活動に取り組んでいます。

【札幌ドーム環境コンセプト】

札幌ドーム ECO MOTION
～ひとりひとりがエコプレイヤー～



札幌ドームは、札幌市環境マネジメントシステムを通じて、地球温暖化対策および環境配慮の推進に努めています。

【環境方針】

私たちは、みらいの子供たちに美しい地球を残し、

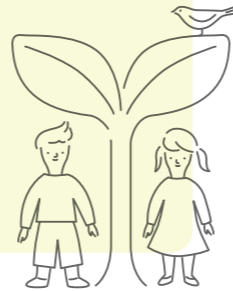
札幌ドームを環境にやさしい施設として

維持し続けることを使命として、

訪れるすべてのお客さまとともに、

よりよい環境づくりに向けて取り組みます

(2008年3月策定)



ECO MOTION 2021

2021年度までの環境活動実績と成果

札幌ドームでは、「環境方針」を実現するために、2011年を基準年とした数値目標を2013年3月に策定し、2021年に向けて取り組みを進めてきました。期間終了に伴い、その実績と成果を報告します。

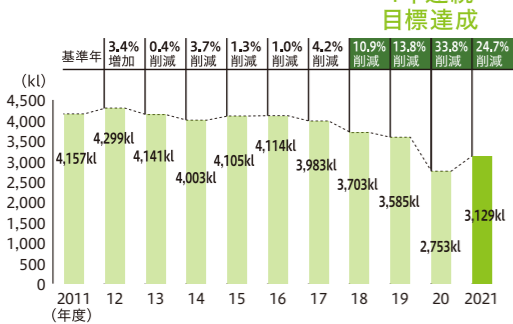
2021年に向けた数値目標 ①

達成

エネルギー使用量を
2011年度より**10%削減**します。

札幌ドームでは、省エネ型の設備の導入、自然換気や自然光の積極的利用、スタンド席の局所空調の採用、照明のLED化などを順次進め、お客さまの安全性や快適性を保ちながら、エネルギー使用量の削減に取り組んでいます。4年連続で数値目標を達成しましたが、2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染症によるイベント減などにより、エネルギー使用量が減少しました。

エネルギー使用量の推移



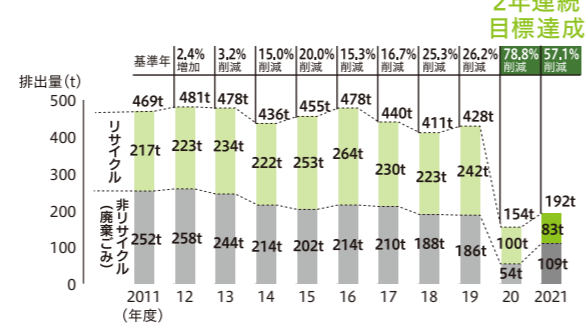
2021年に向けた数値目標 ②

達成

廃棄ごみを2011年度より
30%削減します。

お客さまや事業者さまのご協力のもと、館内各所のごみ箱のほか、売店や事務所などの事業系ごみも細かく分別して回収することで、廃棄ごみを減らしています。同時に2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染症によるイベント中止等に伴い来場者数が激減したことにより、廃棄ごみも大幅に削減されました。

一般廃棄物の排出量



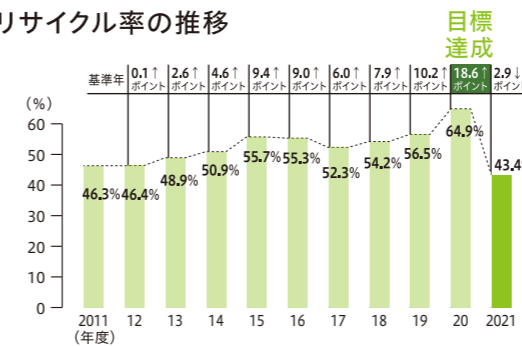
2021年に向けた数値目標 ③

未達成

リサイクル率を
60%以上にします。

館内各所や事務所にリサイクルポスト(分別ごみ箱)を設置し、お客さまにもご協力いただきながら分別しています。一方で2021年度にホヴァリングサッカーステージを天然芝からハイブリッド芝(人工芝+天然芝)に変更したため、芝ごみ(刈りカス)をリサイクルすることができなくなりました。ごみの排出量が大きく削減されたのに対し、芝ごみの量は例年と同量であったため、相対的に芝ごみの影響が大きく反映されて、リサイクル率は過去最低となりました。

リサイクル率の推移



2021年に向けた数値目標 ⑤

未達成

環境啓発企画への参加者を
延べ10万人にします。

2020年度からはコロナの影響により「環境啓発ブース」の展示はオンラインがメインとなりました。2021年度の環境啓発企画への参加者は1,217人となり、延べ人数は10万人には届きませんでした。81,047人ものお客さまに企画にご参加いただきました。



バーチャル開催イベントでの出展ブース

2021年に向けた数値目標 ④

達成

30種以上の鳥が訪れる環境を
維持します。

周囲の環境や生態系に配慮しながら、敷地内の維持管理およびモニタリングを継続することで、1年を通してたくさんの生き物が札幌ドームで見られます。



鳥の種類
36種類

チョウの種類
35種類

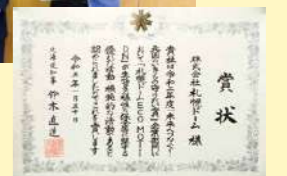
トンボの種類
30種類

環境にまつわる表彰受賞歴

- 2008年09月 第10回グリーン購入大賞 (中小企業部門)「大賞」
- 2012年07月 第4回さっぽろ環境賞 (循環型社会形成部門)「優秀賞」
- 2012年12月 平成24年度北海道ゼロ・エミ大賞「大賞」
- 2013年10月 「循環型社会形成推進功労者 環境大臣表彰」受賞
- 2016年10月 「札幌ドームECO MOTION」が第5回いきものにぎわい企業活動コンテストで「環境大臣賞」受賞
- 2020年02月 「札幌ドームレポート2019」が環境コミュニケーション大賞「優良賞」受賞
- 2021年02月 「北海道生物多様性保全実践活動賞 (未来へつなぐ! 北国のいきもの守りたい賞)」受賞



2021年2月に北海道庁で賞状と副賞が授与されました



ECO MOTION 2030

2030年に向けた環境目標

脱炭素社会の実現を目指して始動します。

「ECO MOTION 2021」の終了に伴い、札幌ドームでは、新たに2030年に向けた新環境目標「ECO MOTION 2030」を2022年3月に策定。札幌市と同様に2016年度を基準年とした数値目標を設定し、施設運営と脱炭素化・循環型社会の実現を両立するためにより一層力を注いでいきます。

ECO MOTION 2030~2030年に向けた環境目標

1 マネジメント体制の推進・法令遵守の徹底

法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます
環境マネジメントシステムを運用し、継続的に改善を行います
環境負荷を正確に把握し、環境関連法令を遵守します
札幌ドームレポートなどを活用し、環境への取り組みを公開します

2 脱炭素社会に向けた取り組み

省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします
お客さまの安全や快適さを保ちつつ、CO₂排出量抑制に努めます
調査研究を進め、施設の特徴を考慮した積極的な運用改善を行います

2030年に向けた数値目標 **CO₂排出量を2016年度より60%削減します**

3 循環型社会に向けた取り組み

廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します
お客さまとともにごみの分別を進め、札幌ドーム内での資源循環を実現します
事業活動に伴うごみを削減するとともに、分別を徹底します
グリーン購入を積極的に進めます

2030年に向けた数値目標 **一般ごみを2016年度より40%削減します**

※一般ごみ…燃やせるごみ

4 生物多様性の保全と環境啓発活動の推進

緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます
生物多様性に配慮して敷地を保全し、多くの生き物が訪れる環境を維持します
子どもたちに環境を学ぶ機会を提供します
社員自らが積極的に学び、環境への取り組みを進めます



環境にやさしい技術の利用・工夫を進めています。

2030年に向けた環境目標を実現するため、さまざまな省エネルギー活動に取り組んでいます。

電力使用量削減のために照明をLED化

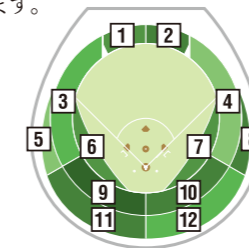
札幌ドームでは、省エネルギー対策の一環として照明のLED化を順次進めています。2017年度はアリーナのサッカー用照明486台と客席用を含むその他72台、合計558台を交換。2018年度には野球用照明586台と空間照明42台、合計628台を更新し、さらに国際競技大会用照明も28台設置しました。2019年度にもストリート北側8カ所、ストリート南側6カ所、タウン東側8カ所、合計22カ所の屋外照明のLED化を実施。2020~2021年度も事務所や駐車場、展望台、メモリアルコーナーなど各所のLED化を進めました。消費電力を削減しながら、明るさの向上を図っています。



LED化した屋外照明

局所空調で冷暖房のエネルギー消費を低減

アリーナのスタンド席では、座席を12のブロックに分け(下図参照)、必要な場所のみ冷暖房を送る局所空調システムを採用しています。お客さまの足下へ直接送風するため、アリーナ全体に冷暖房を送風するよりも大幅にエネルギー使用量低減を実現しています。また、ガラス面の壁などからの自然採光も活用し、人と環境にやさしい施設運用に努めています。



省エネ効果の高い設備を積極的に導入

広大な施設内の空調にエネルギー削減効果が認められている空調用送水ポンプ制御システム「エコノパイロット」を導入するなど、省エネルギー型の設備を積極的に活用して、お客さまと社員の安全性と快適性を保ちながらエネルギー使用量・CO₂の削減に取り組んでいます。



>>> VOICE

多様性のある施設の魅力を引き出せるよう視野を広げながら取り組んでいきます。



施設部 施設管理課
野田 比呂卓
Noda Hiroataka
2018年入社

当社が重点的に取り組んでいるごみの分別には、日頃からお客さま、主催者さま、委託事業者さまにご協力いただき、深く感謝しています。紙袋や紙トレイはトイレトペーパーに、使用済みの食用油は海外向けのバイオディーゼル燃料にリサイクルされるなど適切な分別によって新たな資源が生まれているというプロセスを知り、私自身、ごみ分別の必要性を強く意識するようになりました。これからは、より多くの皆さまへ資源循環についてわかりやすくお伝えできるよう工夫していきたいと考えています。

この広大な敷地の清掃や設備点検などに日々力を尽くして下さっている多くの委託事業者さまには勉強させていただくことばかりです。

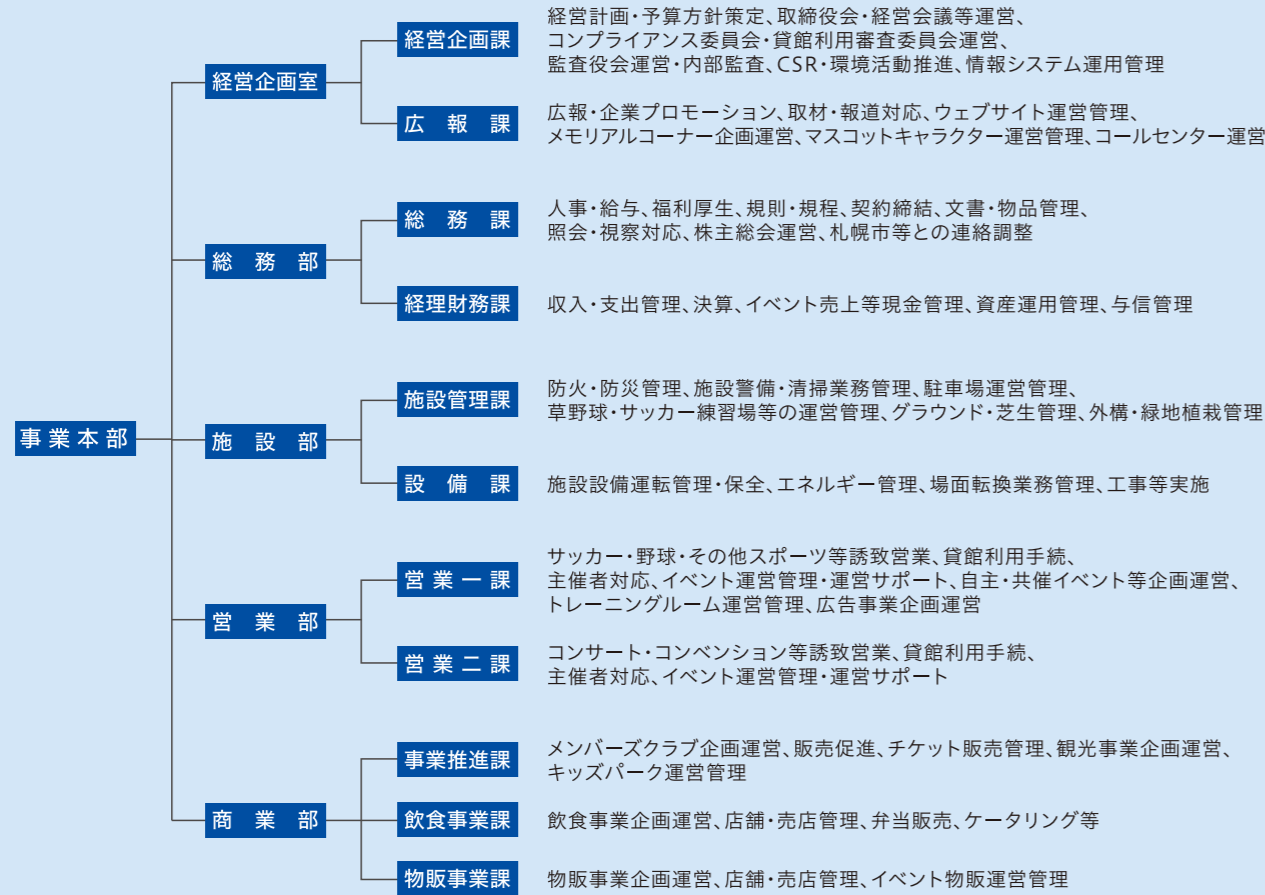
そして札幌ドームは、イベントという非日常時間を提供する場であると同時に、散歩など日常的にもお楽しみいただける場であることを入社後に再認識しました。多様性のある施設としての魅力をさらに引き出せるよう、もっと視野を広げながら取り組んでいきたいです。



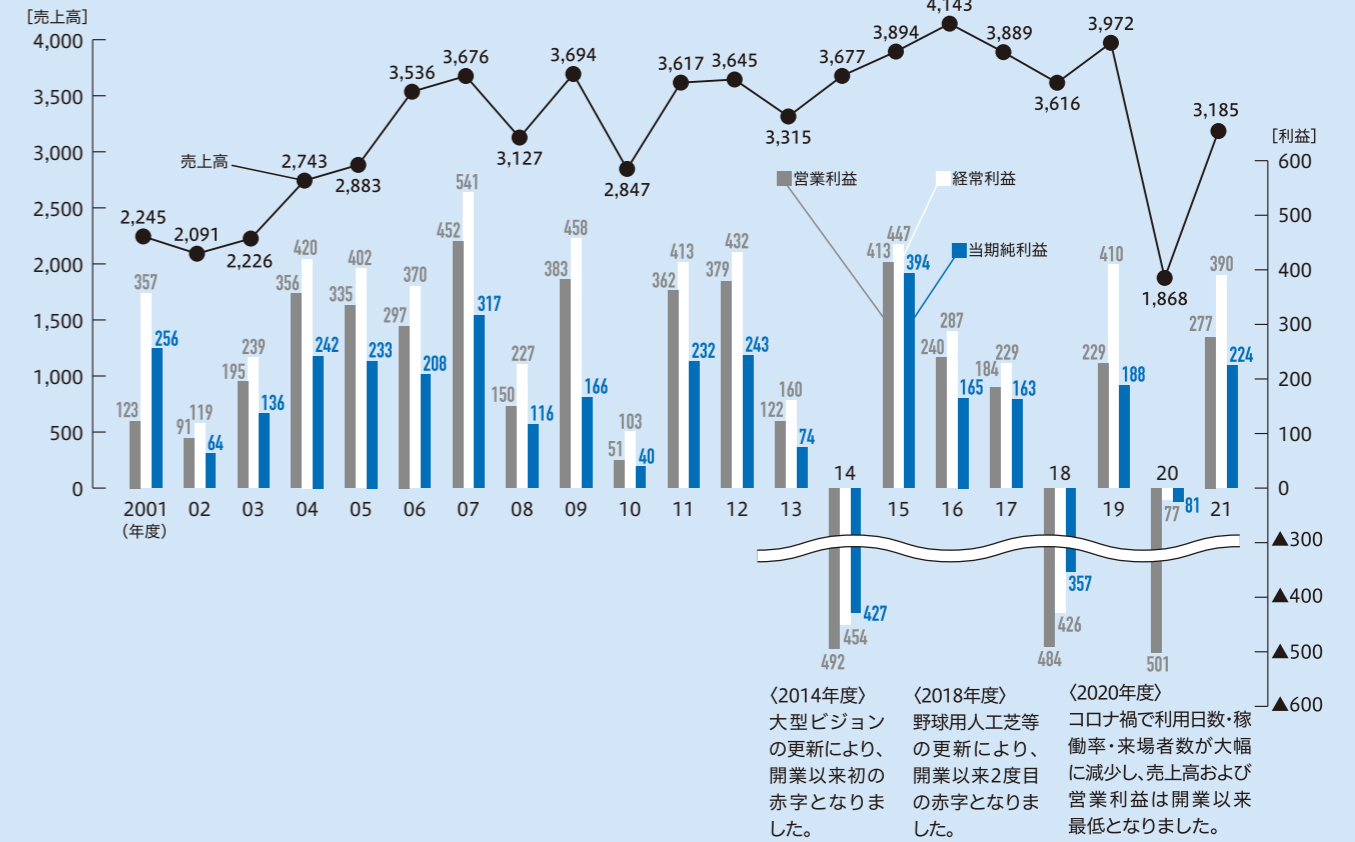
会社概要

商号	株式会社札幌ドーム
所在地	札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
代表者	代表取締役社長 山川 広行
設立	1998年10月1日
資本金	10億円
売上高	31億8,579万円(2022年3月期)
社員数	65名(2022年6月現在)
事業内容	札幌ドームの管理運営業務全般 [地方自治法および札幌ドーム条例等の規定に基づく札幌ドーム指定管理者] 1. 貸館事業 アリーナ・諸室等のイベント利用への貸出およびイベント運営サポート 2. 商業事業 ドーム内の飲食物販事業の管理運営 3. 観光事業 ドーム展望台およびドーム見学ツアーの運営 4. 市民利用事業 草野球、サッカー練習場およびトレーニング室の一般市民利用管理 5. 広告事業 ドーム内広告看板の販売管理 6. 駐車場事業 ドーム駐車場の管理運営 7. チケット事業 各種イベントのチケット販売管理
開業日	2001年6月2日
株主	札幌市(55%)、札幌商工会議所、北海道電力(株)、北海道瓦斯(株)、(株)北海道新聞社、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、サッポロビール(株)、(株)西武リアルティソリューションズ、(株)竹中工務店、大成建設(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(株)電通グループ、(株)電通北海道、(株)大広、東日本電信電話(株)、KNT-CTホールディングス(株)、(株)NTT東日本一北海道、(株)NTTネクシア、北海道キリンビバレッジ(株)、サントリービバレッジソリューション(株)、(株)JTB、(株)JTB商事、北海道放送(株)、札幌テレビ放送(株)、北海道テレビ放送(株)、北海道文化放送(株)

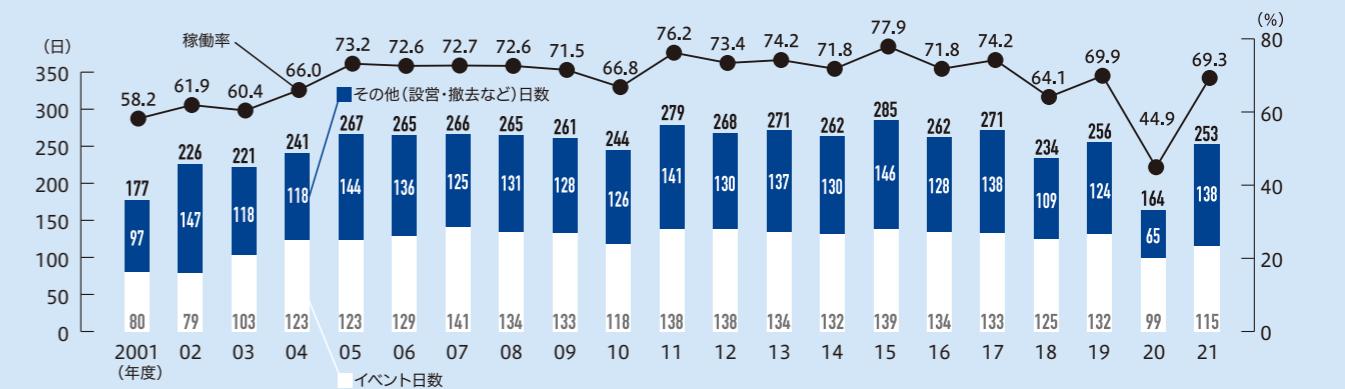
組織図および業務分掌



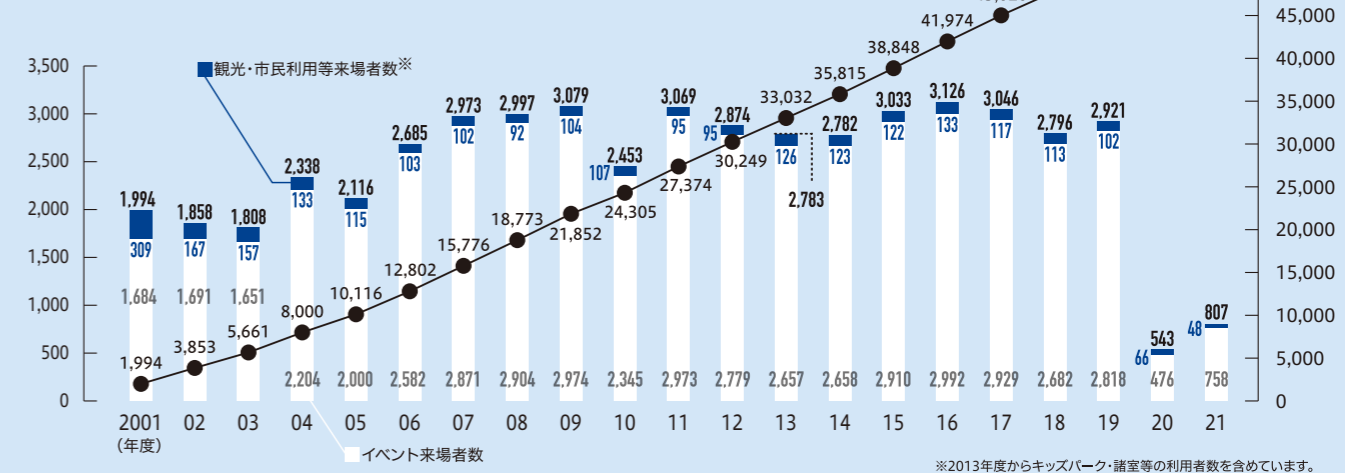
業績の推移 単位:百万円(百万円未満切り捨て)



利用日数および稼働率の推移



来場者数の推移 単位:千人(千人未満切り捨て)





札幌ドーム公式マスコットキャラクター

チャームコン

株式会社 札幌ドーム

〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 TEL.011-850-1000(代表) FAX.011-850-1011

発行:2022年6月 ※2022年6月現在の資料をもとに作成しています。内容は変更になる場合があります。

アンケートご協力をお願い



「札幌ドームレポート2022」をお読みいただき、ありがとうございました。
ぜひ、左記QRコードまたは当社webサイトからアクセスしていただき、
本レポートについてのwebアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。
皆さまのご意見やご感想をお待ちしております。